

# 篠田桃紅美術空間からの お知らせ

市制60周年(合併5周年)記念

「仙厓―ユーモアあふれる禅画 武芸川ふるさと館所蔵による」展

仙厓(1750・1837)は、白隠や良寛と並ぶ江戸時代を代表する禅僧のひとりであり、書画をよくしたことで知られています。美濃国武儀郡(現・関市武芸川町)に生まれ、宝暦10年(1760年)に美濃の清泰寺において得度・出家、僧侶となり、諸国行脚した後、寛政元年(1789年)、40歳で博多の聖福寺の住職となりました。以降、88歳で没するまで生涯黒衣の僧であることを誇りとし、博多で生涯を送りました。

仙厓画は、「厓画無法(仙厓の絵には決まった法などない)」の精神に基づいた飘逸としてユーモアにあふれた作



掲載図版 「花見画賛」

- 会期…10月5日(火)～12月26日(日)
- 入館料…高校生以上300円、中学生以下無料
- 休館日…月曜日(休日を除く)、休日の翌日(土・日・休日を除く)

●関連イベント

- オープニング・ミニコンサート「若林亜由 ヴァイオリン・コンサート」  
10月5日(火)午後5時15分～
  - 市制60周年(合併5周年)記念特別展示鑑賞バスツアー  
10月16日(土)午後1時～4時30分
  - 無料開放日 10月15日(金)・16日(土)
  - 開館時間…午前9時～午後4時30分  
※10月5日(火)のみ午後5時から開館
  - 照会先…篠田桃紅美術空間 ☎23-7756
- 【臨時休館日のお知らせ】  
作品入替作業のため、9月27日～10月4日まで閉館します。

品で、禅の教えをやさしく解き明かした禅画ですが、現代の私たちの心をひきつける不思議な魅力にあふれています。

本展では、市制60周年を記念して、武芸川ふるさと館所蔵の仙厓作品18点を展示し、今日に至るまでその人柄とともに多くの人々に愛されてきた仙厓の芸術を紹介します。

また今年6月に行われた「全国豊かな海づくり大会 天皇皇后両陛下の行幸啓を記念して、両陛下をご覧になられた篠田桃紅「あゆみ」展出品作品から7点を展示します。

## ひとひと 女と男 ともに自分らしく生きよう vol.73

### 男と女の「～らしさ」・「～らしく」

### 男女共同参画社会

この言葉は、子どもの頃から言われ続けてきたり、社会人になってからは自分が口にしたり耳にしたり日常会話の中で使われています。「女らしさ」また「男らしく」と。

ここに自治体A市、K市がまとめた「男女共同参画に関する市民意識調査」があります。この中に、これらの言葉に関連した項目があります。

『女の子は女らしく、男の子は男らしく育てるのがよい』について、「そう思う」が両自治体で女性63.8%・69.1%、男性75.0%・79.4%になっています。この項目については女性・男性とも3分の2以上が「そう思う」であり男性の数値が女性より10%多くなっています。しかし、これについては明らかに年代差が出ており、20才代が51.4%に対し、60才代は78.2%です。

また、『男女は区分せず、個人の能力や性格に応じてその子らしく育てるのがよい』については、「そう思う」が両自治体で女性88.1%・94.6%、男性86.9%・87.9%になっています。この項目については女性・男性とも高い数値を示していますが、特に女性の場合は10人のうち9人が「そう思う」の意識を持っていることとなります。これは女性がいわゆる「女らしく」あることに縛られ、ノーと言えずに引き受けることがいかに多いかを物語っているのではないかと思います。

生物学的、心理学的にも明らかに違う男女差を正しく理解したうえで、古くからの鎖から解放されて男も女ももっと魅力的な「らしさ」を発揮することで「自分らしさ」を出し、お互いをより尊重しあって生きていきたいものです。

さんかくサポーター<J>



<照会先> さんかくサポーター事務局 (まちづくり推進課内) ☎23-6831